

➤ 令和3年

発生月	災害種別	ガスの種類	事故の概要
6/26	噴出・漏えい	フルオロカーボン	屋上に設置の空気熱交換器液配管の結露対策として配管を保温材で覆っていたが、内部の配管が腐食しピンホールからガスが漏えいした。
9/11	爆発・火災	アセチレン 酸素 液化炭酸	事業所で発生した火災により、倉庫に保管していたアセチレン、酸素、液化炭酸（各1本）の安全弁等が作動しガスが噴出。可燃性ガスは引火したと推定される。



➤ 令和4年

発生月	災害種別	ガスの種類	事故の概要
3/24	噴出・漏えい	フルオロカーボン	故障により運転停止していた冷凍機について、事業所の移転に伴う廃止とするためガスを回収しようとしたところ、全量のガスが抜けていた。
5/15	爆発・火災	液化石油ガス 酸素	ビル解体工事現場の屋上でガス溶断器（液化石油ガス及び酸素）を用いて鋼材を溶断中、下階（3階）天井の断熱材（発泡ウレタン）に火花が飛び着火、火災が発生した。
7/30 10/10	噴出・漏えい	フルオロカーボン	配管接続部のシール性能低下により、微量のアンモニアが漏えい。（2件の事故）
11/4	噴出・漏えい	フルオロカーボン	膨張弁2次側の配管にピンホールが発生し徐々に漏えいした。



過去10年の事故概要（仙台市）

高圧ガス保安法

➤ 令和5年

発生月	災害種別	ガスの種類	事故の概要
1/14 4/14	噴出・漏えい	アンモニア	配管継手及びストレーナーカバーのガスケットに経年劣化により隙間が生じ、ガスが漏えいした。（2件の事故）
7/11	噴出・漏えい	液化窒素	貯槽（CE）の充填ラインとパージラインの溶接接続箇所からの漏えい。 ※CEへの液化窒素充てん作業中に当該箇所から漏えいを確認。
8/8	噴出・漏えい	フルオロカーボン	冷媒圧力低下による警報が発生したため、点検者が冷媒漏えいを確認した。漏えい量は10.6kg、原因は調査中。
12/7	噴出・漏えい	二酸化炭素	バルブのグランド押さえボルトが腐食により折損、バルブハンドルシステムごと二酸化炭素が噴出・漏洩した。



➤ 令和6年

発生月	災害種別	ガスの種類	事故の概要
3/27	噴出・漏えい	二酸化炭素	フォークリフト接触による冷媒配管の破損に伴う冷媒（二酸化炭素）の漏えい事故。
10/18	爆発・火災	アセチレン 酸素	工場内において、密閉された廃棄ドラム缶をアセチレンガス切断機を使用し切断作業を開始したところ、火花がドラム缶の内容物に引火し爆発したもの。（負傷者1名）



過去10年の事故概要（仙台市）

高圧ガス保安法

➤ 令和7年

発生月	災害種別	ガスの種類	事故の概要
5/24	破裂・破損	空気	充填圧力を確認せずに移充填を継続したため、空気が過剰供給され、容器が破裂したものの。（重傷者1名発生）
7/20	喪失・盗難	プロパン	長期停滞容器調査を実施したところ、所在不明の容器が確認されたもの。（プロパンボンベ 10kg 1本）
7/27	喪失・盗難	窒素	長期停滞容器調査を実施したところ、所在不明の容器が確認されたもの。（窒素ボンベ 7m ³ 1本）
9/21	噴出・漏えい	二酸化炭素	冷却器廻りで異音を確認、冷媒配管エルボ溶接部のピンホールから冷媒の微小漏洩を確認したものの。（漏洩量不明）



過去10年の事故概要（仙台市）

液化石油ガス法

➤ 令和3年

発生月	災害種別	ガスの種類	事故の概要
1/16	噴出・漏えい	液化石油ガス	全て空室のアパートの屋外で、供給管と調整器との接続部（ユニオン）からの漏えいが継続した。通行人からの通報。 ※容器バルブは『開』で、各室へ供給状態であった。

➤ 令和4年

発生月	災害種別	ガスの種類	事故の概要
3/25	噴出・漏えい	液化石油ガス	アパートにおいて、埋設供給配管の地上立ち上がり部分に腐食穿孔が生じ、ガスの漏えいした。
3/29	噴出・漏えい	液化石油ガス	アパートにおいて、埋設供給配管から漏えいがあった。 ※同月に発生した地震及び余震の影響が疑われる。



過去10年の事故概要（仙台市）

液化石油ガス法

➤ 令和5年

発生月	災害種別	ガスの種類	事故の概要
4/18	爆発・火災	液化石油ガス	飲食店で、末端ガス栓の交換時に、配管内の残ガスが放出され、近くの炭火に引火した。
8/28	噴出・漏えい	液化石油ガス	アパートにおいて排水管の工事業者が、埋設ガス供給管を損傷させガスが漏えいした。
9/13	爆発・火災	液化石油ガス	業務用コンロに点火したところ、付近にあった鋳物コンロと燃焼器用ホースの接続が緩んでいたためガスが漏えいし、引火した。

➤ 令和6年・令和7年事故無し

